

午前の部『幼児が楽しく歌える歌唱指導法』／午後の部『鍵盤ハーモニカを楽しく吹こう』



8月4日(土)、大阪国際交流センターにて、「Kinder 音楽グルメの会 MUSIC SUMMER SEMINAR」を開催いたしました。39園 76名の幼稚園・保育園の先生方にご参加いただき、午前の部は作曲家：富澤 裕 先生による『幼児が楽しく歌える歌唱指導法』をテーマに、午後の部は当会代表：久保 修三 による『鍵盤ハーモニカを楽しく吹こう』をテーマに研修をおこないました。今回のレポートでは、午前中におこなわれた歌唱指導にフォーカスしてお伝えします。ピアニスト：榊原契保先生のピアノ伴奏に合わせて合唱をしながら、実践的な指導法を学べる講座となりました。



富澤先生による『幼児が楽しく歌える歌唱指導法』講座ではまず歌を歌い、「今の歌に、感動したか?」「楽しかったか?」を確認しました。“楽しいと感じるのは集中をしている時”というポイントから「命令ゲーム」や、「手を振って歌う」ことをおこない、集中力を高めながら、元気に楽しく歌える雰囲気をつくっていきました。

◀ゲームを通して感じた「楽しさ」や「集中力」を、歌に応用していきました。

さらに、手振り・足踏みで「拍」を感じながら『ぶんぶんぶん』『さんぽ』を歌ったり、腹式呼吸で『こぎつね』を表情豊かに歌ったりしました。『虫のこえ』では虫を探すジェスチャーをしながら歌い、より豊かな表現をしていきました。ほかにも、動作を交えながら楽しく歌う方法や、拍子を身に付ける歌い方、高い音を綺麗に発声する方法を紹介していただきました。

また、『ゆき+春が来た』『きらきら星+かすみか雲か』の曲では、ペアでの動作を交えながら輪唱風バージョンを楽しく歌える方法を実践しました。“子どもたちから「よ～し!」という気持ちを引き出すことが大事”だというお話と指導法が大変印象に残った研修でした。



ご参加された先生の声から♪

♪「集中力が高まった時に子どもは楽しいと感じる」というのが印象的でした。「よ～し!」という、魔法の言葉を子どもたちから引き出せるよう、楽しく歌える指導を心がけていきます。

♪高音が出せないため楽しく歌えず、良い見本が示せず、どうにかしたいと思っていました。実際に歌って体験して、声が出たことに驚きました。「よ～し!」の気持ちで、歌うことを楽しみたいと思いました。

♪自分が楽しいと感じることで、歌が変わっていくことを体感できました。「こぎつね」の合唱も感動しました。ピアノも「ソの音探し」「とんとんとんとん ひげじいさん」から取り入れていこうと思います。

♪参加するまで歌や演奏に自信がなく、どうにかして子どもたちが音楽を楽しめるようになってほしい…と考えていましたが、自分が楽しみ、音楽を好きにならないとそれはできないと気づくことができました。午前、午後を通して、とても音楽が好きになりました!

♪声の出し方、子どもが歌を好きになる方法が、参考になりました。怒鳴る歌い方は賛成ではなかったですが、子どもが楽しいと思って歌った様子を見てから、歌い方を訂正していけばいいのだと気づきました。

今後「Kinder 音楽グルメの会」はテーマを変えて幼稚園・保育士の先生方を対象にした教育講座を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。<音楽グルメの会>